

平成26年度11月補正予算案のポイント

《補正予算案の特色》

◎ 御嶽山噴火災害からの復興と火山の安全対策

- ・ 御嶽山の噴火災害への緊急対策や災害からの復興に向けて、地域の実情に応じた弾力的かつきめ細やかな対応ができるよう、木曾町と王滝村による復興基金の創設を支援します。
- ・ 火山における救助活動で必要となる機器を県内全ての消防本部に配備するとともに、火山噴火から登山者を守るためのヘルメットを整備します。

◎ 医療提供体制の強化

- ・ 新たに地域医療介護総合確保基金を造成し、①病床機能の分化・連携、②在宅医療・介護サービスの充実、③医療従事者等の確保・養成を進め、医療提供体制の確保・充実を図ります。

◎ 子どもの性被害防止

- ・ 性被害者への総合的な支援を1か所で提供するワンストップ支援センターの開設に向けた検討を行うとともに、子どもを性被害から守るための条例のモデルを県民へ示すために検討会を開催します。また、学校での性に関する指導の充実に取り組みます。

◎ 補正予算額

28億405万円

(債務負担行為 12億150万7千円)

[] は成果目標

◎ 御嶽山噴火災害からの復興と火山の安全対策

- ① 木曾町、王滝村による災害復興等のための基金設置への支援 2億円 <企画振興部>
御嶽山の噴火災害への緊急対策や災害からの復興に向けて、地域の実情に応じた弾力的かつきめ細やかな対応ができるよう、木曾町と王滝村による復興基金の創設を支援
- ② 消防本部への救助活動用機器の配備 379万1千円 <危機管理部>
火山における救助活動で必要となる機器を県内全ての消防本部に配備
・ 火山ガス検知器 26台
- ③ 登山者用ヘルメットの配備 282万4千円 <観光部>
県内の常時観測火山への登山者を噴火災害から守るため、山小屋等の避難拠点に登山者用ヘルメットを配備
・ 対象市町村：小諸市（浅間山）、松本市（焼岳）

◎ 医療提供体制の強化

⑨ 医療提供体制の改革

22億7266万1千円

＜健康福祉部、教育委員会＞

医療・介護サービスの提供体制の改革を進めるために新たに基金を造成し、必要な施設・設備の整備などを推進

- ・地域医療介護総合確保基金の積立て 15億3038万2千円
 - ・病床の機能分化・連携、在宅医療の充実、医療従事者等の確保・養成など
 - 医療提供体制を充実させるための事業 7億4227万9千円
- 〔事業進捗率（全体執行額／全体計画額）：73.9%（平成26年度）〕

難病患者等に対する新たな医療費助成の準備

1087万4千円

＜健康福祉部＞

国の制度改正により平成27年1月から新たに始まる難病及び小児慢性疾患の患者への医療費助成を円滑に行うため、必要な体制を整備

- ・指定医療機関及び指定医の指定、医療受給者証の交付など

◎ 子どもの性被害防止

⑨ 性被害者のためのワンストップ支援センターの開設準備

41万8千円

＜県民文化部＞

性被害者への総合的な支援を1か所で提供するワンストップ支援センター開設に向けた検討を行うため、準備会議を設置

〔平成28年度中にワンストップ支援センターを開設〕

⑨ 子どもを性被害から守るための検討

52万円

＜県民文化部＞

子どもを性被害から守るための条例制定の必要性について県民的な議論を深めるため、具体的な判断材料としての条例のモデルを示すための検討会を設置

〔平成27年度に条例のモデルを作成、公表〕

⑨ 学校での性に関する指導における外部講師等の活用促進

25万5千円

＜教育委員会＞

学校での性に関する指導を充実させるため、専門性を有する外部講師・団体を活用した指導事例等をまとめた資料集を作成し、県内の学校へ配布

◎ 県民生活の安全・安心の確保

道路区画線等の塗り替え

（債務負担行為 3億1000万円）

＜建設部、警察本部＞

冬期の除雪等で不鮮明となる道路の区画線や横断歩道等の塗り替えを迅速に進めるため、債務負担行為を設定

大規模災害時における航空搬送拠点の整備

3642万3千円

＜健康福祉部＞

災害時に広域医療搬送を担う航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）において使用する物品を追加で整備

- ・携帯用超音波診断装置、搬送用人工呼吸器等の整備

◎ その他

指定管理者による施設管理費

（債務負担行為 5億8920万8千円）

＜産業労働部、観光部、建設部、教育委員会＞

複数年度にわたり指定管理者を指定する勤労者福祉センターなど12施設の指定管理料について債務負担行為を設定

長野県議会議員選挙の準備

2億7079万3千円 <企画振興部>

平成27年4月に予定される県議会議員一般選挙に向けて、本年度中に必要な準備を実施

第67回全国植樹祭の開催準備

300万円 <林務部>

ふるさと信州寄付金を活用し、平成28年に開催される全国植樹祭の式典会場で使用する木製プランターカバーの製作経費を負担

・事業主体：第67回全国植樹祭長野県実行委員会

[木製プランターカバー製作数：1,370基（平成26年度）]